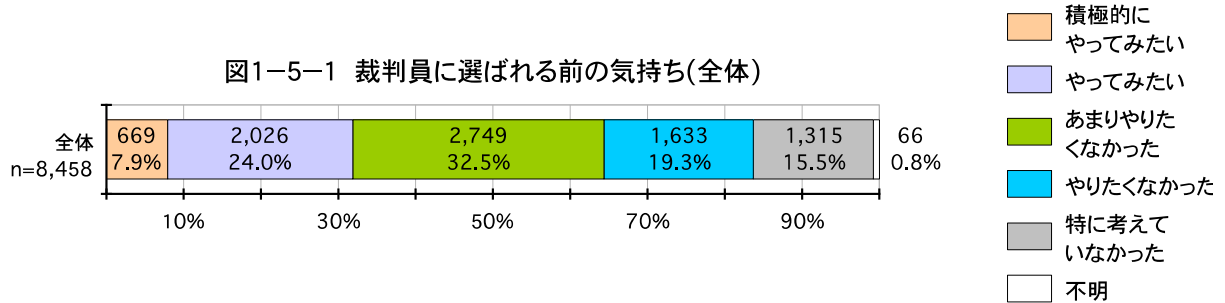


(5) 裁判員を務めた感想等について

() 裁判員に選ばれる前の気持ち及びその理由

問9 裁判員に選ばれる前、裁判員に選ばれることについてどう思っていましたか。



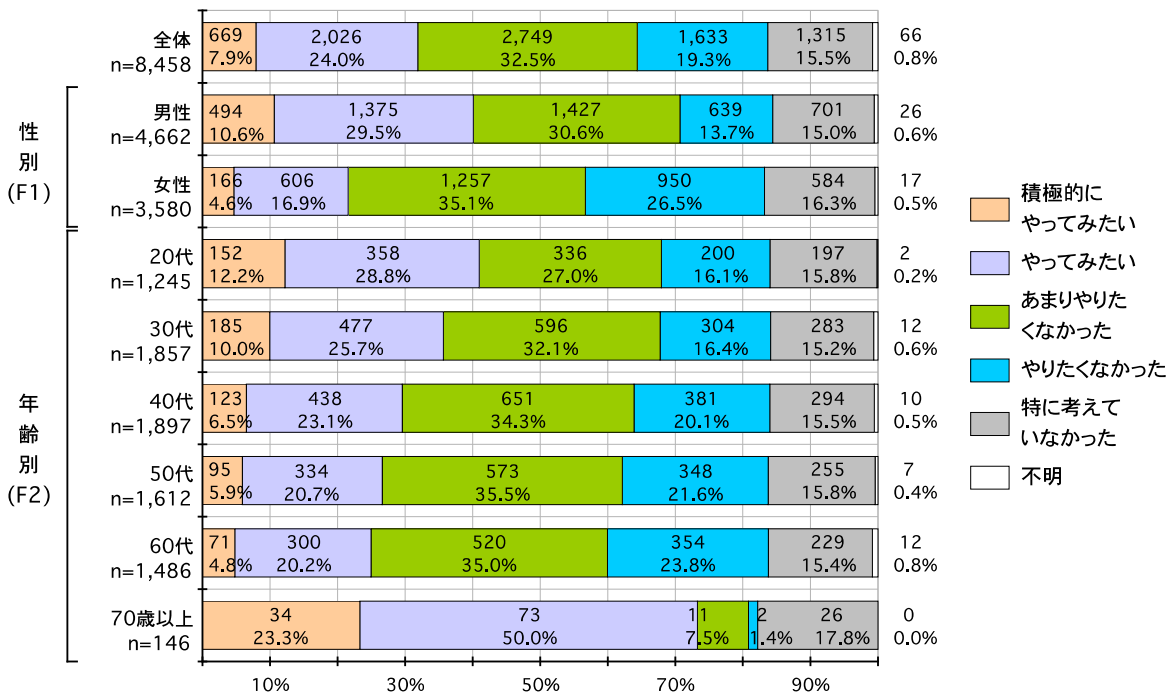
裁判員に選ばれる前の気持ちについて、「積極的にやってみたい」(7.9%)、「やってみたい」(24.0%)をあわせた『積極的な参加意向』は31.9%であるのに対し、「あまりやりたくなかった」(32.5%)、「やりたくなかった」(19.3%)をあわせた『消極的な参加意向』は51.8%である。

裁判員に選ばれる前の気持ちを性別，年齢別でみたのが，図1-5-2である。

性別でみると，男性のほうが『積極的な参加意向』(40.1%)が高く，女性のほうが『消極的な参加意向』(61.6%)が高い。

年齢別でみると，若年層ほど『積極的な参加意向』が高く，60代までは年齢が高くなるにしたがって低くなっている。なお，70歳以上の『積極的な参加意向』が突出しているが，70歳以上は，事前に定型的に辞退が認められる事由であることに留意されたい。

図1-5-2 裁判員に選ばれる前の気持ち (性別, 年齢別)

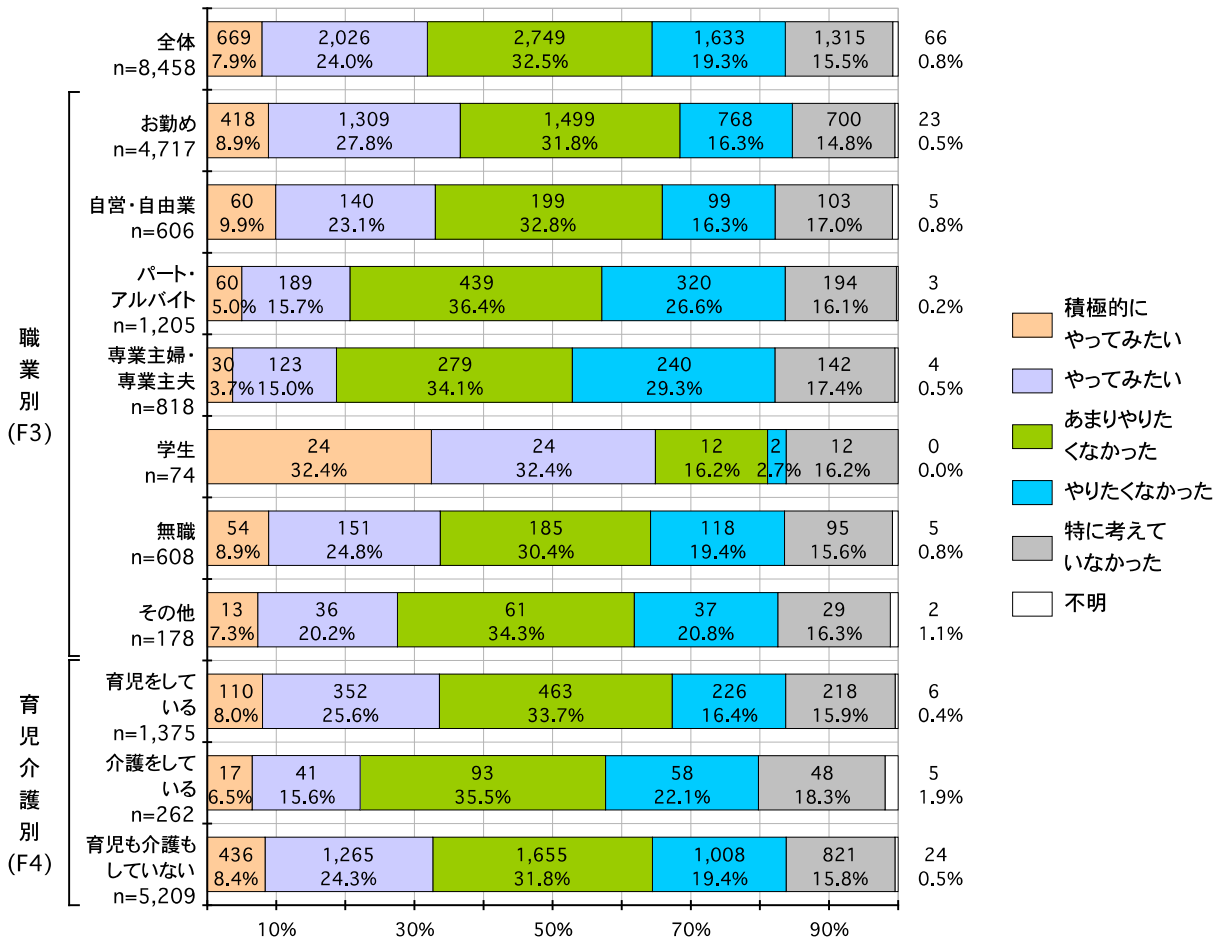


裁判員に選ばれる前の気持ちを職業別，育児介護別でみたのが，図1-5-3である。

職業別でみると，学生の層の64.8%が『積極的な参加意向』を示しているが，学生は，事前に定型的に辞退が認められる事由であることに留意されたい。以下，お勤めの層（36.7%），無職の層（33.7%），自営・自由業の層（33.0%），パート・アルバイトの層（20.7%），専業主婦・専業主夫の層（18.7%）の順で『積極的な参加意向』は高くなっている。

育児介護別では，育児をしている層と育児も介護もしていない層では大きな差はみられないが，介護をしている層では『積極的な参加意向』が他の層よりも低くなっている。

図1-5-3 裁判員に選ばれる前の気持ち
(職業別, 育児介護別)



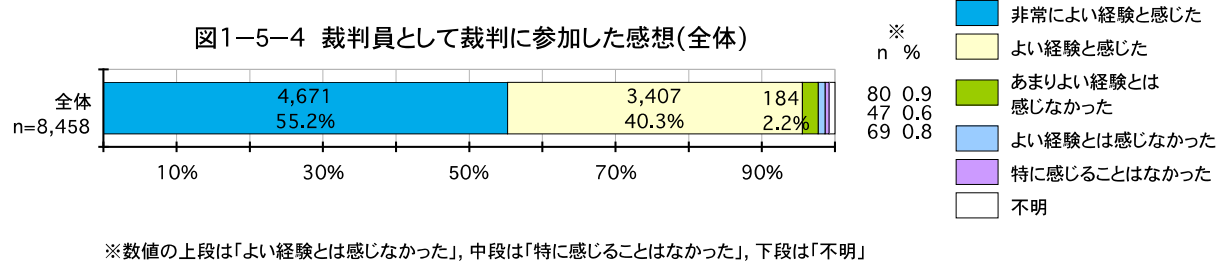
裁判員に選ばれる前の気持ち（問9）の理由を自由に記載してもらったところ（問10），全8,458名中，7,846名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け，複数の項目にわたる記載を含む回答については，当該複数の項目に分類したところ，裁判員に選任されることに対し，『積極的な参加意向』を示した理由として，「貴重な経験である，関心があった」とするものが最も多く，逆に，『消極的な参加意向』を示した理由として「その他の不安，（漠然と）自信がない」を挙げるものが最も多い。

具体的な記載については，資料編の自由記載分類・整理表（153頁）に主な記載例を掲載したので，そちらを参照されたい。

() 裁判員として裁判に参加した感想及びその理由

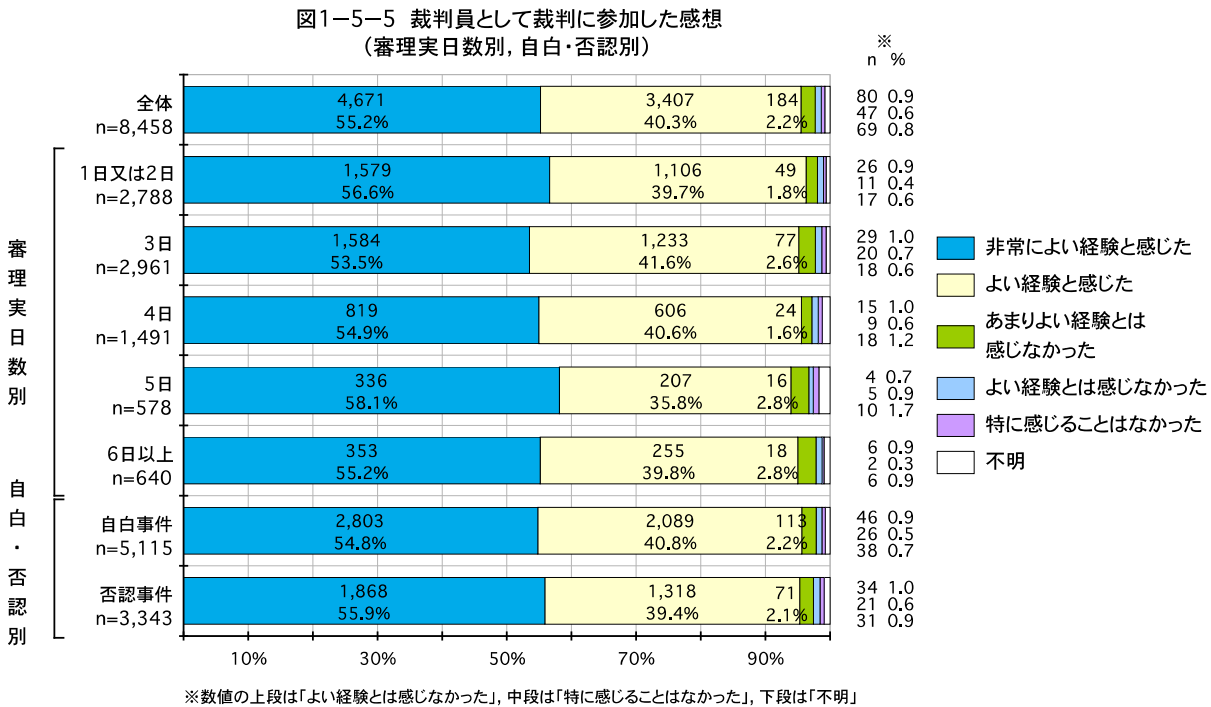
問 1 1 裁判員として裁判に参加したことは、あなたにとってどのような経験であったと感じましたか。



「非常によい経験と感じた」との回答が55.2%である。これに、「よい経験と感じた」との回答(40.3%)をあわせると95.5%になり、ほとんどの人が『よい経験』と感じたと回答している。

裁判員として裁判に参加した感想を審理実日数別、自白・否認別でみたのが、図1-5-5である。

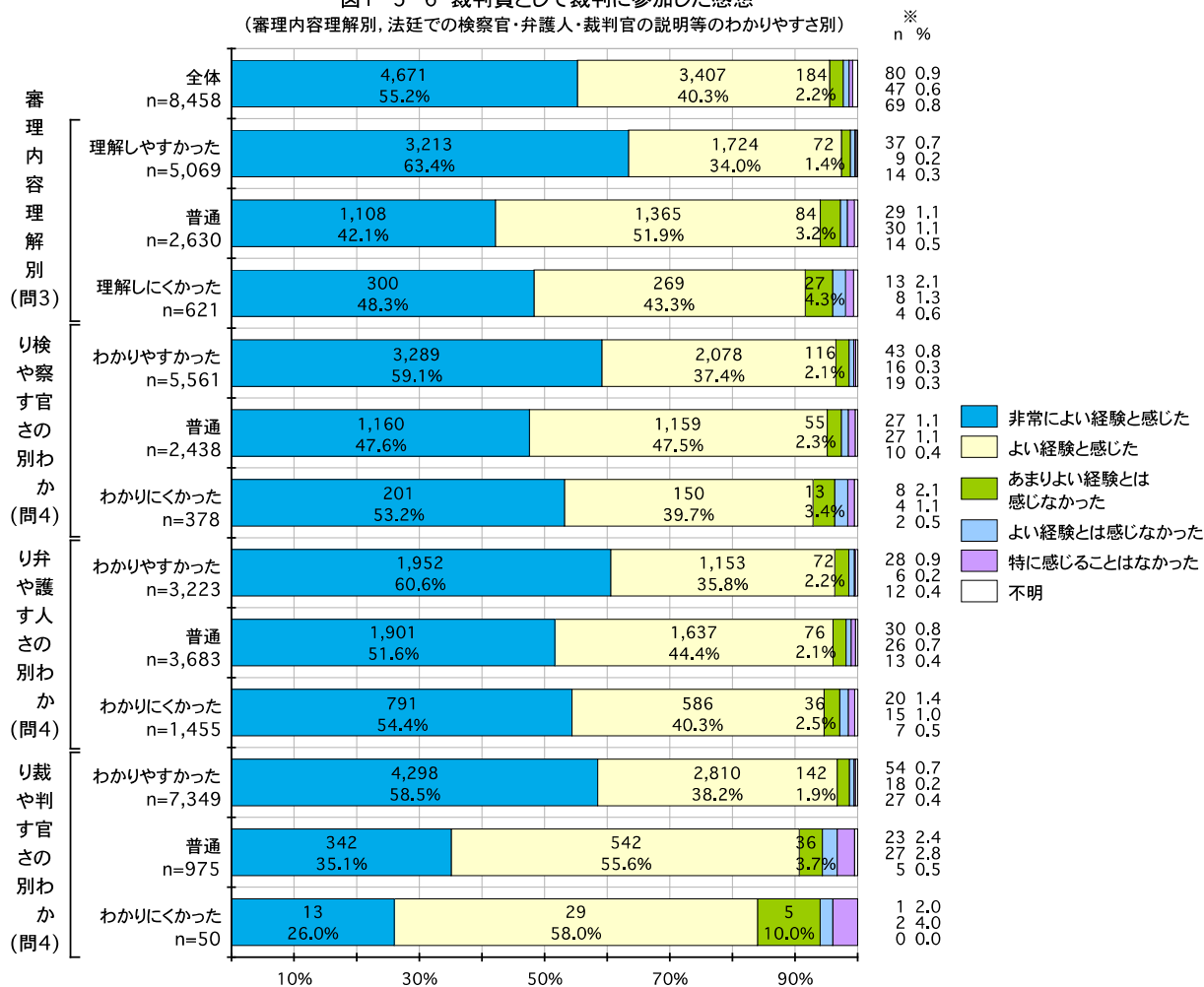
審理実日数別、自白・否認別いずれも各回答の割合に大きな差はみられない。



裁判員として裁判に参加した感想を審理内容理解別，法廷での検察官・弁護人・裁判官の説明等のわかりやすさ別でみたのが，図1-5-6である。

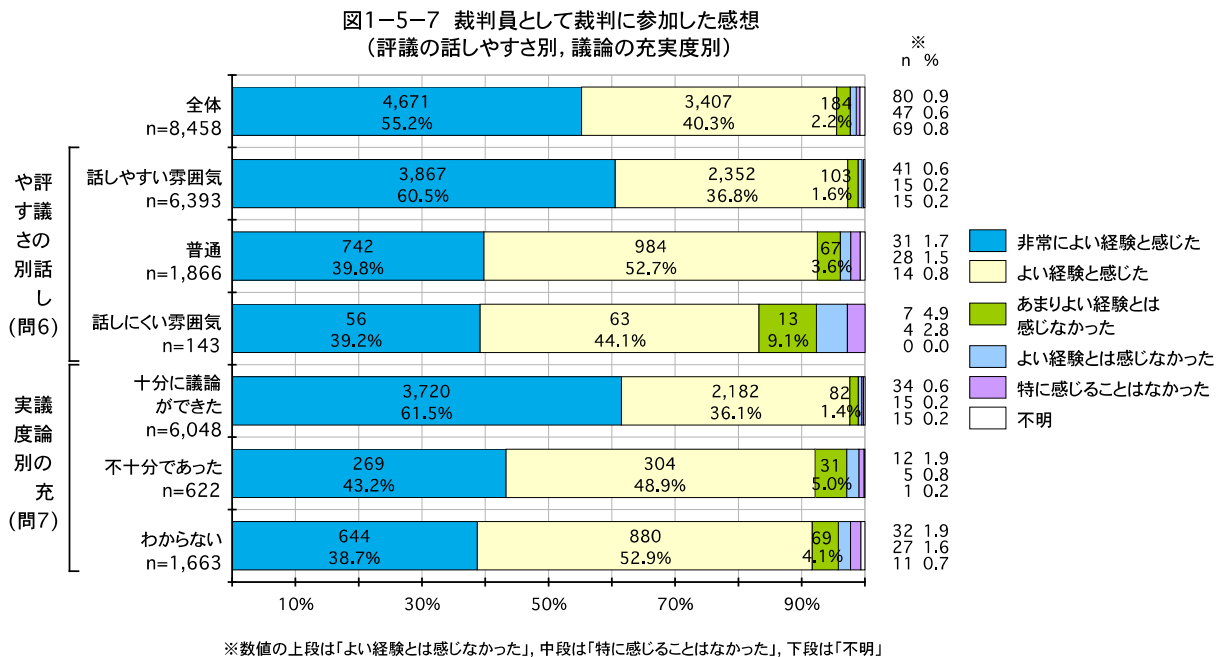
審理内容について「理解しやすかった」と回答した層では「非常によい経験と感じた」との回答が63.4%となっており，「普通」または「理解しにくかった」と回答した層より15ポイント以上高くなっている。

図1-5-6 裁判員として裁判に参加した感想
(審理内容理解別，法廷での検察官・弁護人・裁判官の説明等のわかりやすさ別)

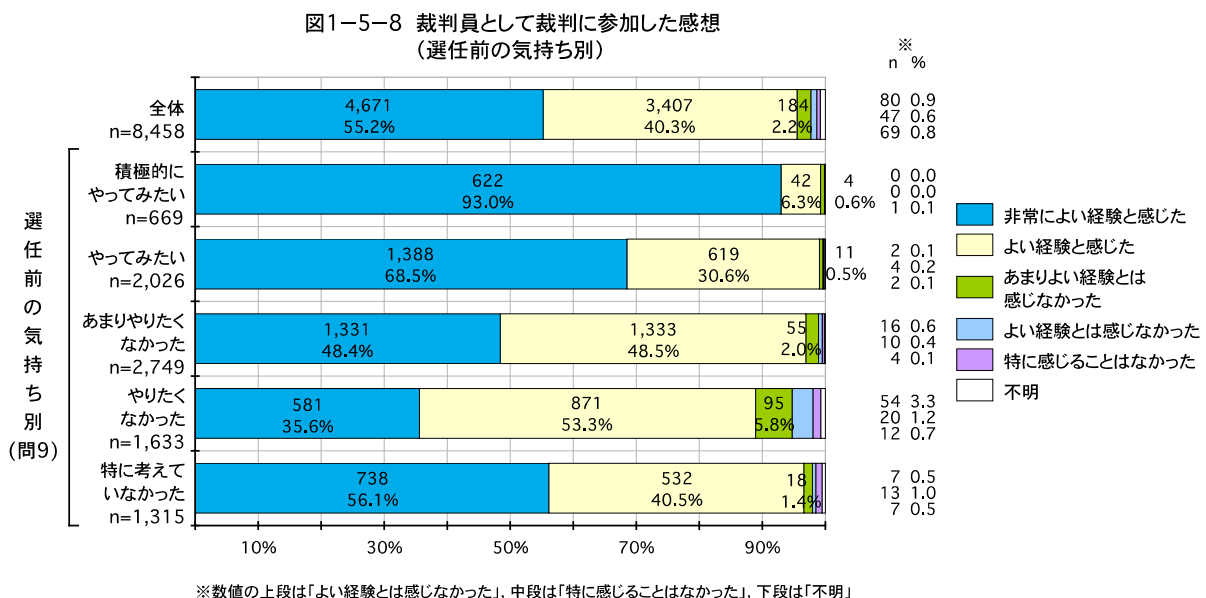


※数値の上段は「よい経験とは感じなかった」，中段は「特に感じることはなかった」，下段は「不明」

裁判员として裁判に参加した感想を評議の話しやすさ別、議論の充実度別でみたのが、図1・5・7である。「話しやすい雰囲気であった」、「十分に議論ができた」と答えた層では、「非常によい経験と感じた」と回答した者の割合が60%以上と、他の層よりも高くなっている。



裁判员として裁判に参加した感想を選任前の気持ち別でみたのが、図1・5・8である。選任前の参加意向が積極的な層ほど、「非常によい経験と感じた」と回答した者の割合が高くなっている。また、選任前やりたくなかったと回答した層であっても、選任後は88.9%が『よい経験』と感じたと回答している。



裁判员として裁判に参加した感想(問11)の理由を自由に記載してもらったところ(問12)、全8,458名中、7,702名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け、複数の項目にわたる記載を含む回答については、当該複数の項目に分類したところ、裁判员に選任されたことを『よい経験』と感じた理由については、「普段できない貴重な経験をした、やりがいがあった」というものが最も多く、「裁判や裁判所のことなどがわかった」というものがこれに続いている。

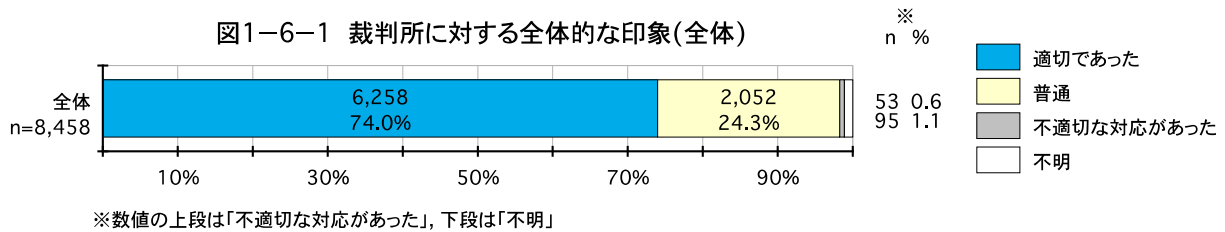
具体的な記載については、資料編の自由記載分類・整理表(157頁)に主な記載例を掲載したので、そちらを参照されたい。

(6) 裁判所の対応(裁判所職員の対応,裁判所からの情報提供,裁判所の設備など)について

() 全体的な印象

問13-1 全体的な印象はいかがでしたか。

図1-6-1 裁判所に対する全体的な印象(全体)



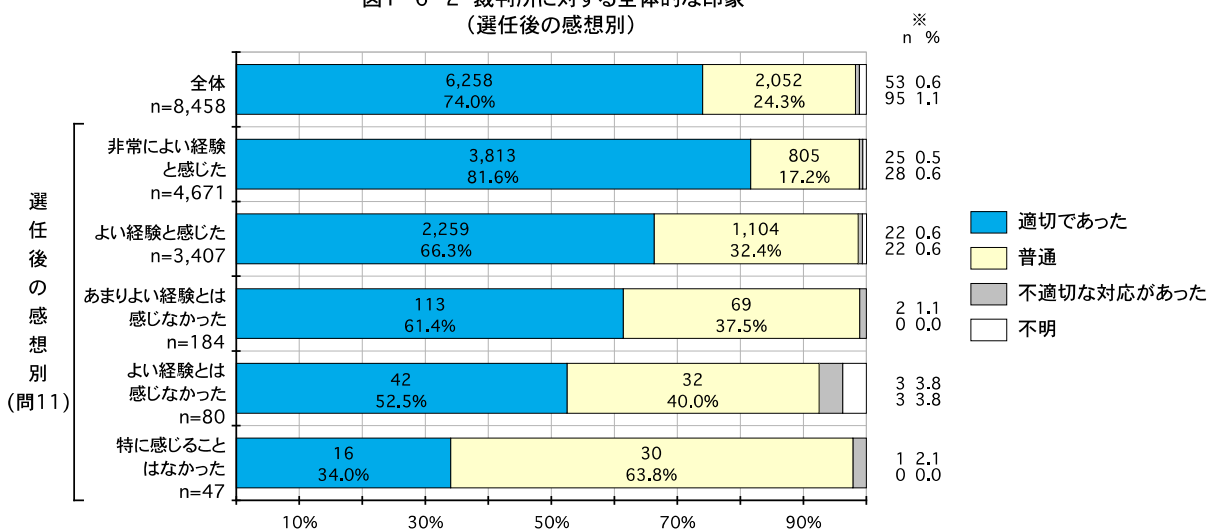
※数値の上段は「不適切な対応があった」,下段は「不明」

裁判所の対応について、「適切であった」との回答が74.0%（「普通」とあわせて98.3%）であったのに対し、「不適切な対応があった」との回答は0.6%であった。

裁判所に対する全体的な印象を選任後の感想別でみたのが、図1-6-2である。

『よい経験』と感じた層ほど「適切であった」と回答した者の割合が高い。「よい経験とは感じなかった」層では「適切であった」との回答が52.5%であり、「不適切な対応があった」との回答は3.8%である。

図1-6-2 裁判所に対する全体的な印象(選任後の感想別)



※数値の上段は「不適切な対応があった」,下段は「不明」

() 裁判所の対応について感じたこと(問13-2)

裁判員候補者名簿に登録されてからの裁判所の対応(裁判所職員の対応,裁判所からの情報提供,裁判所の設備など)について感じたことを自由に記載してもらったところ,全8,458名中,3,975名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け,複数の項目にわたる記載を含む回答については,当該複数の項目に分類したところ,職員の対応について,「適切だった,気を遣ってもらった」などとするものが最も多かった。

具体的な記載については,資料編の自由記載分類・整理表(161頁)に主な記載例を掲載したので,そちらを参照されたい。

(7) その他の全般的な意見や感想など (問 1 4)

全般的な感想について、自由に記載してもらったところ、全 8 , 4 5 8 名中、3 , 5 5 6 名から回答があった。

記述内容を項目別に大きく分け、複数の項目にわたる記載を含む回答については、当該複数の項目に分類したところ、参加した感想のうち「貴重な経験だった」、「負担が重かった」などとするもの以外のその他の感想が最も多く、制度の運用に関する意見がこれに続いている。

具体的な記載については、資料編の自由記載分類・整理表 (1 6 3 頁) に主な記載例を掲載したので、そちらを参照されたい。